

令和 8 年 5 月 21 日  
海事局総務課国際企画調整室

## 北田桃子教授が国際海事機関（IMO）のジェンダー平等賞を受賞

国際海事機関（IMO）は、毎年、海事分野でのジェンダー平等の取組推進に貢献した人物・団体に「ジェンダー平等賞」を授与しています。2026 年の受賞者として、日本がノミネートした世界海事大学（WMU）の北田桃子教授が選出され、英国ロンドンの IMO 本部で授賞式が行われました。

### 1. IMO ジェンダー平等賞の概要

IMO ジェンダー平等賞は、海事分野におけるジェンダー平等の取組推進（女性の活躍推進）に貢献した人物・団体を称えるため、2024 年に創設されました。毎年、各国からのノミネートを踏まえ、IMO 事務局長を議長とする審査団が選出します。

2026 年は、27 候補中、ジェンダー平等賞（1 名）、表彰状（7 名）が選出されました。このうち、日本がノミネートした世界海事大学（WMU）の北田桃子教授が最高位である「ジェンダー平等賞」を受賞しました。授賞式は、5 月 18 日に英国ロンドンの IMO 本部で開催されました（受賞の様子は別紙参照）。

### 2. 北田桃子教授の功績

北田桃子教授（三級海技士、社会科学博士（英カーディフ大））は、2011 年よりスウェーデン・マルメにある世界海事大学（WMU）に勤め、WMU 教務部長、海事教育訓練学科長、ジェンダー平等・多様性委員会座長として、海事分野のジェンダー平等・女性活躍推進に向けた研究・教育活動に従事しています。

15 年にわたり延べ 115 か国・1700 名以上の学生（うち約 600 人が女性）を指導し、世界各国の海事分野における女性リーダーの育成に貢献してきました。今回の受賞は、このような国際的な海事人材教育でのジェンダー平等の取組が高く評価されたことによるものです。

さらに、授賞式に合わせ、IMO と WMU が、北田教授が執筆したジェンダー平等性推進に向けたハンドブックを刊行しました。ハンドブックは、以下の WMU ホームページで公表されています。

[https://commons.wmu.se/lib\\_reports/98/](https://commons.wmu.se/lib_reports/98/)

#### 【問い合わせ先】

海事局総務課国際企画調整室 岩城、中島  
代表：03-5253-8111（内線 43-221、45-623）  
直通：03-5253-8656



【授賞式における北田桃子教授（左）と IMO 事務局長（右）】

(引用：IMO ウェブサイト, [Professor Momoko Kitada receives IMO Gender Equality Award 2026](#))



【受賞スピーチの様子】

